

検査内容変更のお知らせ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび下記項目につきまして、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- ◆ フェニトイン(フェニトイン, フェニトインナトリウム)
- ◆ フェノバルビタール
(フェノバルビタール, フェノバルビタールナトリウム)
- ◆ カルバマゼピン

変更日:2019年9月30日(月)受付分より

裏面に続きます。

◆ フェニトイン(フェニトイン, フェニトインナトリウム)

治療有効濃度につきまして、一般社団法人 日本TDM学会の「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値 10.0～20.0(成人・小児) 8.0～15.0(新生児)	治療有効濃度 10.0～20.0(成人) 3.0～20.0(小児)
単位	μg/mL	同左
報告範囲	2.0未満～最終値	同左

【参考文献】

一般社団法人 日本TDM学会:抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018.(金原出版)

◆ フェノバルビタール(フェノバルビタール, フェノバルビタールナトリウム)

治療有効濃度につきまして、一般社団法人 日本TDM学会の「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値 10.0～40.0	治療有効濃度 10.0～40.0(成人) 10.0～20.0(小児)
単位	μg/mL	同左
報告範囲	4.0未満～最終値	同左

【参考文献】

一般社団法人 日本TDM学会:抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018.(金原出版)

◆カルバマゼピン

治療有効濃度につきまして、一般社団法人 日本TDM学会の「抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018」記載値に準拠して、変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
基準値	治療有効濃度 トラフ値 4.0～12.0 ※他の抗てんかん薬併用時は4.0～8.0	治療有効濃度 4.0～12.0(成人) 4.0～10.0(小児)
単位	$\mu\text{g/mL}$	同左
報告範囲	0.4未満～200.0	同左

【参考文献】

一般社団法人 日本TDM学会:抗てんかん薬TDM標準化ガイドライン2018.(金原出版)